

- 日時 2018年3月16日（金）12:30～13:20
- 場所 A20会場（名城大学 共通講義棟 北館3F N321）

## 60年目のチャレンジ！ 新たな時代に向けたポッカレモンの研究戦略

### ポッカレモンの事業と研究の歴史

#### 講演1

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社  
研究開発本部 本部長 平山 悌也

1957年に発売したポッカレモンは1972年に果汁100%となり、1990年代には用途別タイプの発売など時代のニーズに合わせて変化しました。またレモンの収穫後丁寧に搾汁したおいしさが評価され、発売以来60年にわたるロングセラー商品に成長しております。本日はポッカレモンの歴史と弊社のレモン研究の内容を紹介します。

### 最新 レモンの健康機能研究

#### 講演2

～ロコモティブシンドロームとレモン～

サッポロホールディングス株式会社 グループR&D本部  
価値創造フロンティア研究所 瀬川 修一

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社は2013年2月より広島県とパートナーシップ協定を締結し、この連携の一環として、これまで県立広島大学や広島県立総合技術研究所と共にレモンに関する様々な研究を進めてきました。その中で、レモンを日常生活に取り入れることにより、骨の健康に良い影響を及ぼす可能性を検討してきました。骨密度が低下傾向にある年代層において、レモン1個分の果汁とカルシウムを含む飲料を1日1本摂取することにより、骨密度の増加が確認されました。今回の研究では、普段の食生活においてカルシウムを含むレモン果汁を摂取することで、骨の健康増進につながる可能性を示しています。